

# 令和6年度 岡山県立倉敷工業高等学校 学校評価書

岡山県立倉敷工業高等学校  
校長 横田 寿弘

## 1 自己評価

### I 評価結果（別紙参照）

### II 特長と分析（主なものを紹介）

#### 【人間力の向上】

学校行事がコロナ禍以前にほぼ戻り、球技大会や体育祭、文化祭等を通して、全校の一体感が醸成された。また、新入生宿泊研修の復活による効果的なクラスづくり。校則の見直しなどをはじめ、生徒会活動の活性化による自治活動への関心の高まり。学校自己評価アンケートの数値が大きく上昇。（「生徒会活動に関心を持っている」の評価が生徒昨年比17%上昇）

#### 【学力の充実】

PBLの視点を取り入れた授業の研究や公開授業の推進によって、授業力の向上に努めた。また、「Chromebook等の活用に関する研究」プロジェクトの継続によって、一人一台端末の活用を推進するとともに、興味の持てる分かりやすい授業をとおして、基礎基本の定着を図ったことで、授業や家庭学習に取り組む姿勢が向上した。（授業以外の学習に関する肯定的回答33%上昇）

#### 【キャリア教育】

就職希望者210名、就職内定率100%を達成及び地元への就職率が90%。進学希望者86名、うち4年制大学36名。岡山大学教育学部（岡山県工業科教員養成プログラム選抜）2年連続合格。第一種電気工事士合格者全国高校総合7位、危険物取扱者試験甲種2名乙種全類4名合格など資格取得の充実。

#### 【地域連携】

老松コミュニティ協議会との連携による地域の活性化（地域の行事への参加や年間5回のイルミネーション展示公開、あいさつ運動等）、SOJAイルミネーションへ出展、カヌー部の高梁川河川敷清掃、天満屋倉敷店とのコラボ、羊の毛刈りから紡いだ毛糸で製作したひざ掛けを高齢者福祉施設に贈呈、倉敷中央病院での車椅子整備等。硬式野球部が県わかば賞受賞。

#### 【ものづくり】

ものづくりコンテスト電気工事部門2年連続県優勝中国大会出場、ゼロハンカー全国大会、マイコンカーラリー、モデルロケット全国大会出場。5軸マシニングセンタ、レーザー加工機、GCMS等の最新機器の活用、高校生探究フォーラムでの発表、外部講師の積極的な活用を推進。

#### 【校内組織の活性化と人材育成】

業務の効率化と相互扶助の促進、業務内容の見直し。OJTによる人材育成。自動採点ソフトの導入や保護者連絡アプリの導入、Formsを活用した朝の欠席連絡等の業務負担軽減。全員対象と若手対象のコンプライアンス研修の時機を得た実施による意識の向上。

## 2 学校関係者評価委員名（五十音順、敬称略）

- 岡田恵美（本校PTA会長）                      ○風早正明（老松学区コミュニティ協議会理事）  
○滝澤 昇（岡山理科大学工学部 教授）      ○三宅 香（本校同窓会 副会長）  
○向谷 隆（岡山ロボケアセンター(株) 代表取締役）

## 3 学校関係者評価（主なものを紹介）

- ・運動部だけでなく文化部も書道部の総文祭2年連続出場など活躍は特筆に値する。
- ・参観時に課題研究の専門的な説明を生徒がしてくれて、学習内容をよく理解していると感じた。
- ・保護者向け連絡アプリはとても良い。HPと連動させるなど今以上に活用してほしい。
- ・進学希望者でクラス編成をし、高みを目指すようなカリキュラムマネジメントはどうか。
- ・生徒が地域連携を一生懸命してくれており、地域と自然に交流しており素晴らしい。

## 4 来年度の重点取り組み（学校評価を踏まえた今後の方向性）

◎重点目標；「倉工スタンダード」による「人づくり」～地域から信頼され愛される人に～

- ・【人間力の向上】…学校行事の精選と充実、豊かな人間性の育成、リーダーの育成等
- ・【学力の充実】…一台端末の活用、興味の持てる、わかる授業を実践、SDGs、PBL視点の学び等
- ・【キャリア教育】…進路（就職・大学進学）に応じた指導の充実、企業・学校研究の充実等
- ・【地域連携】…地域や社会と連携した学びの実践、SNS等を活用した効果的な情報発信等
- ・【ものづくり】…最先端のデジタル化対応装置の活用、課題研究の魅力づくり、安全教育等
- ・【校内組織の活性化と人材育成】…相互扶助やOJT、DXによる業務効率化、コンプライアンス